

2017(H29)年度 北陸電力グループ経営方針

1. 安定供給を確保する

供給安定性、経済性に優れ、発電時にCO₂を排出しないことから、ベースロード電源として重要な役割を担う志賀原子力発電所の安全強化に徹底して取り組むとともに、新規規制基準への適合性確認審査に的確に対応し、早期再稼働を目指す。

また、高稼働が続いている水力・火力発電所の着実な補修や、流通設備の機能維持対策の計画的な実施により、安定供給を確保する。

- 志賀原子力発電所の早期再稼働および安全・安定運転に向けた不断の取り組み
- 供給信頼度の維持に向けた電力設備の整備
- エネルギーの効率的利用に向けた取り組み
- 電源の低炭素化に向けた取り組み
- 国のエネルギー・環境政策への対応

2. 競争力を高める

小売全面自由化による厳しさを増す競争環境や、厳しい収支状況に対処するため、安全最優先を前提とした経営効率化の徹底や、志賀原子力発電所をはじめとした競争力ある電源の整備・活用、お客さまのニーズによりの確にお応えするサービスの展開等、あらゆる点において競争力を高め、事業基盤を強化していく。

- 志賀原子力発電所の早期再稼働および安全・安定運転に向けた不断の取り組み
- 安全最優先を前提としたコスト競争力の更なる強化
- お客さまから選択いただくための営業活動の強化

3. グループ全体の収益性を高める

保有する経営資源を最大限活用し、LNG販売を含めた総合エネルギー事業を展開するとともに、グループ各社の競争力強化に向けた取り組みにより、グループ全体の収益性を高め、持続的成長を目指していく。

- 総合エネルギー事業の展開
- グループ各社の競争力強化に向けた取り組み

4. 電力システム改革に適応する

2020年4月からの送配電部門の法的分離に対し、業務の中立性・透明性確保と最適な事業運営の両立に向け、着実に準備を進めていく。また、小売全面自由化の下での制度改革に対しても的確に対応し、着実な業務運営を行っていく。

- 法的分離を踏まえた事業運営の最適化
- 小売全面自由化の下での制度改革への的確な対応

5. 経営基盤を支える取り組みを徹底する

安定供給や競争力強化、電力システム改革に向けた課題等に確実に対応し、当社グループが持続的に成長していくため、安全最優先の徹底をはじめとする安全文化の更なる深化や業務品質の向上を図るとともに、お客さまや地域の皆さまとの双方向対話活動を展開し、地域社会から信頼いただけるよう取り組んでいく。

また、ダイバーシティの推進による活力ある職場づくりなど、個人・組織が能力を最大限発揮できるよう環境を整備する。

- 安全文化の深化と業務品質の向上
- 地域社会から信頼いただくための取り組み
- 個人・組織が能力を最大限発揮できる活力ある職場づくり